

# 第5学年道徳学習指導案

1. 主 題  同じ地球に生きている      4－（8）国際理解と親善  
資料名「同じ空の下で」      （東京書籍）

## 2. 主題設定の理由

### （1）子どもの実態について

本学級の子どもたちは明るく元気で素直な子どもが多い。また男女の仲もよく、転入生が入ってきてもすぐに受け入れ、誰とでも親しくなれる子ども多い。本校では15年前より韓国の◇◇小学校と姉妹校として交流をもっている。昨年4年生の時も本校に招聘し全校集会や餅つき大会などの行事をもったり、なかにはホストファミリーとして受け入れたりした家庭もある。今までの総合学習「アンニョンハセヨ ハング」「カムサハムニダ ハング」で韓国の生活、遊び、言葉、食事、服装など異文化に出会ってきている。このような出会いや学習を通じて子ども達の世界に向けての視野は徐々に広がってきている。しかし、世界と自分自身とのつながりやかかわりを実感することは難しく十分ではない。そこで本題材を取り上げることでこの地球で「ともに生きている」という気持ちをもたせていきたい。そのことは「同じ」地球に生きているという共感を子ども達が大切にしていけることになると思う。

### （2）ねらいとする価値について

本主題の指導内容（高学年4－（8））は、国際理解と親善の心をもった児童を育てようとするものである。「国際理解」とは、外国の人々や異文化の中に自分と共有される多くの感性や思いがあることに気づき、それを大切にしながら国際親善に努めようとする心情を育てることであり、国際交流が盛んになっていく今後はますます大切になってくると考えられる。

#### ○ 人とのかかわりから

自分と開発途上国の人を比べややもすると、かわいそうな人、貧しい人と考える子もいるが、地球には言葉や文化が違って自分たちと「同じ」心や思いをもった子ども達が生活をしている場所という気持ちを大切にすることは人として大切なことであると考えられる。

#### ○ 小中連携から

中学校では道徳4－（8）国際理解でのねらいは「世界の中の日本人として自覚を持ち国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する」となっており、5、6年では「外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。」となっている。5年生では同じ地球上にいる子どもの気持ちに自分の気持ちを重ね最終的には自分と世界との関わりについて意見がもてるようになり、6年では国際親善に進んで努めようという気持ちから、毎年□□小学校の取り組んでいる「地雷撤去」の運動につなげていっている。このような取り組みをしていくことにより中学校のねらい「世界に貢献したい」という心情に高めていけると思う。

### （3）資料の活用について

本主題の指導にあたっては、子どもたちに3枚の写真（宝物を持った女の子・涙をためた男の子・肩を組んで笑う子ども達）を見せ、その子たちの様子や気持ちについて考えてみる。自分の体験をもとに想像し、「自分はどんなときに写真の子のようになるか、その時の気持ちはどうか。」等を考えさせる。この事を通して、世界中の人々に共通した感性や思いがあることに改めて気づき、共感させることが大切だと考える。世界中に住む同世代の子どもたちのうれしさ、かなしさ、楽しさなど感じ方は国が違ってさほど変わらないということが理解できると思う。その思いをふまえたうえで世界中には今この瞬間にも苦しんでいる子どもたちがおり、その原因となるものを知った上で自分のこととして考えるよう仕向けていく。「君には何ができるか」「自分ならどうするか」という問いかけで自分とつなげて考えられるようにしていけると考える。

### （4）主題と人とのかかわりをつなぐ総合単元 構成図Ⅱ P.99 参照のこと

### 3. ねらい

- 外国の人々や異文化の中に自分と共有される多くの感性や思いがあることにあらためて気づき、それらを大切にしながら国際親善に努めようとする心構えを育てる。

### 4. 準備

(教師) 3枚の写真, さし絵, 資料(出生1000人当たりの5歳未満児の死亡率の資料)と写真  
(子ども) 学習プリント

### 5. 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点
導入	1. いろいろな国の言葉や文化について知っていることを出し合い、本時学習の方向をつかむ。 ○ ◇◇小学校との交流で経験したこと ○ あいさつ ○ 遊び ○ 食事 ○ 習慣など	○ 自分たちが経験したり、学習したことを思い出させる。
展開 前段	めあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">世界の子どもたちの様子や気持ちについて考えよう。</div>	
	2. 子どもたちの写真を見ながら話し合う。 (1) 写真の子ども達の様子や気持ちについて考える。 ・女の子にとって宝物があるように私にも大切にしている宝物があります。 ・お母さんに叱られたのかな。 ・友だちと笑っている。私にもものすごく仲良しの友だちがいます。 (2) 他の国の子どもたちと自分の「同じ」をさがす。 ・ぼくはボール遊びが大好き。他の国の子どもたちも好きだと思う。 ・私には夢がある。他の国の子どもたちもきっと夢があると思う。	○ 3枚の写真を提示し、同じ世代の子どもたちの様子や気持ちを自分の経験をもとに出し合わせる。  ○ 自分にも世界中の人々に共通した感性や思いがあることに改めて気づき、共感できるようにする。
展開 後段	3. 写真・資料を見て話し合う。 ○ 「食べるものがなくて死んでしまう」子どもたちがたくさんいるという事実を知ってどんなことを考えたかを出し合う。 ・今まで給食など食べ物を残していたけど、これからは残しては恥ずかしい。 ・こんなにたくさん子どもたちがかわいそうに思う。	○ 自分の日常生活を振り返っての発言があれば、どうしてそのように考えたのかを具体的に話せるようにする。
終末	4. 今日の学習を書く。 ・自分とこれからの世界とのかかわりについて考えを書く。 5. 教師の説話を聞く。 (外国の人の体験を聞く)	○ 書くことに抵抗を感じている子どもには、一番心に残っている写真・言葉についての感想を書くように助言する。 ○ 今日の学習をまとめることを意識した世界とのかかわりに関する体験談を聞く。 ○ その内容に関係した写真などの資料を提示し、興味を持って聞けるようにする。

主題と人とのかかわりをつなぐ総合単元 構成図Ⅱ

教科・総合的な学習の時間	道徳の時間	特別活動・行事等
<p>3年 「アンニョンハセヨ ハング」 ・ 韓国の言葉, 遊び, 食事等を知る</p>	<p>「アプロ」 ぬくもり 4 - (8) 国際理解</p>	<p>◇◇小学校との交流 (韓国)</p>
<p>4年 「カムサハムニダ ハング」 ・ 韓国の文化, 言葉, 遊び, 食事等を知る</p>	<p>「あそんでみよう」ぬくもり 4 - (8) 国際理解</p>	
<p>5年</p> <p>□□のパンフレットをつくろう</p> <p>1. ◇◇小学校との交流を想起する。 2. ◇◇小学校のお友だちに喜んでもらえることは何か考える。</p> <p>3. グループに分かれて調べる。 ○史跡 ○文化的施設</p> <p>4. ハングル文字について学習する。 5. 調べたことをまとめ, パンフレットを作成する。 6. ◇◇小学校に交流に行く友だちにパンフレットを持っていってもらおう。</p>	<p>同じ地球に生きている 4 - (8) 国際理解 「同じ空の下で」</p> <p>(本時)</p> <p>心のかよい合い 4 - (8) 国際理解と親善 「もう一人のお友達」</p>	<p>◇◇小学校との交流 (韓国)</p>
<p>6年</p> <p>「自分たちにできることは」</p>	<p>「義足のランナー」 4 - (8) 国際理解と親善</p>	<p>◇◇小学校との交流 (韓国)</p>